

106 桂内閣(日英同盟、日露戦争)



乃木希典

203 高地の愚将？
昭和天皇を教育
明治天皇に殉死
乃木神社の祭神

1900

義和団事件

義和団 が「扶清滅洋」を唱えて
北京の各国公使館を襲撃した。

拳法(けんぽう)の一種である「義和拳」を極めると鉄砲の弾に当たらなくなると信じる宗教結社です。上半身は裸です。ドイツに支配された山東省の農民のあいだに広がり、山東省から一気に北京に攻め込んできました。アチョー！と攻めてくるので、イギリス軍もフランス軍も恐怖しました。

1900

北清事変

清国が義和団とともに 8 国に宣戦布告！

→ 8 か国共同出兵。

1900

北京議定書

清国政府は 8 か国に莫大な賠償金と払いました。
日本は、北京に駐兵権を獲得しました。極東の憲兵。



1900 ロシアが満州全土を占領

ロシアのねらいは、満州の次は朝鮮ではないか！ロシアに朝鮮まで取られたら日本の独立が危ういと危機感。



伊藤博文

安易に戦争するな。ロシアとの戦争は避けなければならない。

伊藤閣下、ロシアは日本を侮っています。交渉してもまともに相手にしてくれないでしょう。イギリスと同盟しましょう。

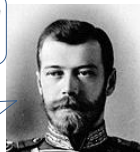


小村寿太郎



日露協商こそ相互の利益です。満州はロシア、朝鮮は日本を相互に認め合しましょう。

満州はすでにロシアのもの。韓国は日本のものではない。何で交換せなあかんのだ。



強気なニコライ2世

元老伊藤博文、井上馨の

日露協商論 (満韓交換論)は挫折、

小村寿太郎外相、元老山県有朋、桂首相の

日英同盟論 が選択された。

非戦論・反戦論

・クラークの弟子 内村鑑三

… キリスト教徒 の立場から非戦論。

・中江兆民の弟子 幸徳秋水

… 社会主義者 の立場から反戦論。

→ 平民社 を立ち上げて(万朝報を退社)

『平民新聞』を発行、反戦論を訴える。

・与謝野晶子 が雑誌『明星』に投稿。

主戦論

・東大7博士の意見書

・戦前最大新聞『万朝報』

ロシアは満州全土を占領し、満州における門戸開放・機会均等の原則を踏みにじっている非文明国だ。しかもロシアは皇帝専制政治で、議会も憲法もない。非戦論の幸徳秋水退社。

1902

日英同盟

世界の七つの海を支配するイギリスと、植民地されるかどうかという極東の小国日本が結んだ対等な同盟。

・日本vsロシアで開戦したらイギリスは厳正中立。
・ドイツやフランス等がロシア側について参戦したら、イギリスは日本側陣営として参戦する。
→日本はイギリスの軍事援助なしに単独開戦を選択。

1903 戦費 17 億円の調達の方法をつける

・増税 約3億6000万円

・内債 約6億円

・外債 約7億円→米英が購入してくれた

同盟を結び、戦費の方法をつけたら

シベリア鉄道開通前に急いで開戦！

1904 旅順港封鎖

1905 203高地 の激戦

乃木希典 大将、児玉源太郎

1905 奉天開戦

1905 日本海海戦

東郷平八郎 提督